

日本工学院専門学校		開講年度	2019年度		科目名	一般教養B2	
科目基礎情報							
開設学科	放送芸術科		コース名		開設期	後期	
対象年次	1年次		科目区分		必修	時間数	30時間
単位数	2単位				授業形態	講義	
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。						
担当教員情報							
担当教員	畑 雅代			実務経験の有無・職種		なし	
学習目的							
特に放送業界報道業務、あるいはドキュメンタリー制作バラエティ制作においては海外での撮影の機会が発生しうる。最低限英語でのコミュニケーションが取れることは非常に有益であり、日常的な会話にとどまらず専門的な（映像では常識的な）会話を習得することを目的とする。							
到達目標							
日常会話検定の合格を目標とする。撮影時のやり取りなどに特化したテキスト、試験の実施。							
教育方法等							
授業概要		この授業では、文法ではなく、単語の羅列であっても会話を前提としたトレーニングを行う。					
注意点		教員は、学生の勇気をもって発言した内容を否定しない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	資格試験の実施				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 (口頭・実技)	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	資格と授業の説明			日常的な会話力を身につけることを目的とすることを理解する			
2回	あいさつ 日常的な会話			オーソドックスな中でのバリエーションや端折り方を学ぶ			
3回	静止画、動画の撮影許諾			人物の肖像の許諾、場所の許諾、映り込みの許諾、撮影のお邪魔などなど			
4回	撮影現場でのやり取り ①			専門的な言葉、言い回し、流儀を学ぶ			
5回	撮影現場でのやり取り ②			カメラ、照明、音声における専門的な言葉などを学ぶ			
6回	撮影現場でのやり取り ③			俳優とのコミュニケーションを学ぶ			
7回	休憩など食事シーン			様々な食事の場面を想定し、言い回しを学ぶ			
8回	編集現場でのやり取り ①			特に使用する機材の名称などを学ぶ			
9回	編集現場でのやり取り ②			作業における定型句含めた言葉の定型表現を学ぶ			
10回	編集現場でのやり取り ③			作業における定型句含めた言葉の定型表現をさらに学ぶ			
11回	日常的な屋外でのやり取り①			買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ①			
12回	日常的な屋外でのやり取り②			買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ②			
13回	日常的な屋外でのやり取り③			買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ③			
14回	日常的な屋外でのやり取り④			買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ④			
15回	まとめ・総括			ここまでの内容の確認を行う			